

**2015 年度「地質の日」記念企画展
「札幌の過去に見る洪水・土砂災害」のご案内**

今年の「地質の日」展示は、4月28日（火）から5月31日（日）まで札幌市資料館で開かれます。今回の展示のテーマは「札幌の過去に見る洪水・土砂災害」です。

これまで開催されていた北大総合博物館が耐震工事で休館中のため、今年は札幌市資料館での開催となります。

今回の展示の趣旨は次のとおりです。

「札幌は自然災害の少ない街との印象がありますが、過去には大規模な洪水災害、震度6程度と推定される地震、強烈な台風などがありました。本展では洪水災害を中心に札幌周辺の自然災害について展示・解説し、自然災害への備えの重要性を喚起します。」（企画展示ポスターより）

合わせて、関連土曜市民セミナー、市民地質巡検も行われます。

市民セミナーでは「札幌周辺の地震活動」、「札幌市民が学ぶ広島土砂災害」と題して、地震および土砂災害の専門家にお話しいただきます。

また、市民地質巡検では「札幌の洪水跡を訪ねる」をテーマに、中島公園を中心に豊平川沿いを徒歩で巡検します。

近年、札幌でも地震の可能性が指摘されるようになり、また集中豪雨もたびたび発生するようになっています。私たちの防災意識を高めるうえでも、ふるってご参加いただきたいと思います。

当協会はこの行事の共催団体となっています。

【地質の日とは】

地球生命史、地球環境、自然災害などを理解するうえで重要な「地質」を、社会的に広く理解・認知してもらうために、関連学会や団体が発起人となって2007年に制定された日で、5月10日。この日は、“お雇い外国人”米国の地質学者ライマン（B. S. Lyman 1835～1920）らが、1876（明治9年）年に日本で最初の地質図「縮尺200万分の1の日本蝦夷（えぞ）地質要略之図」を刊行した日に当たり、それにちなんで制定された。

（知恵蔵2015より）

札幌の過去に見る洪水・土砂災害

札幌は自然災害の少ない街との印象がありますが、過去には大規模な洪水災害、震度6程度と推定される地震、強烈な台風などがありました。本展では洪水災害を中心に札幌周辺の自然災害について展示・解説し、自然災害への備えの重要性を喚起します。

1981年8月の石狩川の氾濫（株式会社シン技術コンサル提供）

期間：2015年4月28日（火）～5月31日（日）

※5/7（木）、5/11（月）、5/18（月）、5/25（月）は休館

時間：9:00～17:00

会場：札幌市資料館1階 【入場無料】

札幌市中央区大通西13丁目

札幌市資料館ホームページ <http://www.s-shiryokan.jp>

問い合わせ先 札幌市博物館活動センター（電話：011-200-5002）

【日・月・祝は休館】

市民地質巡検「札幌の洪水跡を訪ねる」

日時：5月24日（日）10時～15時（予定）

コース：中島公園を中心に豊平川沿いを徒歩で巡検

定員：30名

参加費：300円（保険代・資料代、当日集金します）

申込方法：以下からお選び下さい（5月14日必着）

- ・はがき 〒060-0001 札幌市中央区北1条西9丁目
リンテージプラザ5階札幌市博物館活動センター宛
- ・ファックス 011-200-5003
- ・メール museum@city.sapporo.jp

※住所・氏名・年齢・連絡先をご明記下さい。申込み
多数時は抽選（抽選結果は全員にお知らせします）

関連土曜市民セミナー

日時：2015年5月2日（土）14:00～15:30

場所：札幌市資料館2階 研修室

講師：笠原 稔（北海道大学名誉教授）

演題：「札幌周辺の地震活動」

日時：2015年5月9日（土）14:00～15:30

場所：札幌市資料館2階 研修室

講師：田近 淳（株式会社ドーコン）

演題：「札幌市民が学ぶ広島土砂災害」

【入場無料】【申込み不要】 ※座席数（54席）を超えた場合は立ち見となります

主催：「地質の日」展示実行委員会

共催：北海道大学総合博物館・日本地質学会北海道支部・産総研地質調査総合センター・道総研地質研究所
北海道博物館・札幌市博物館活動センター・北海道地質調査業協会

協力：国土地理院北海道地方測量部・株式会社シン技術コンサル・株式会社アイピー地質情報室
一般財団法人宇宙システム開発利用推進機構